

令和6年度 調布市立北ノ台小学校 学校経営計画（校長 野口 直也）

学校の教育目標

◎思いやりのある子ども ○よく考える子ども ○明るく元気な子ども

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

目指す学校像 【子どもたち一人一人を大切に作る学校】
(1) 児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」
・友達と関わることのできるよろこび
・学んで分かるよろこび
・心を解放して体を動かすよろこび
・自分の存在が認められるよろこび
・自分の成長が実感できるよろこび
・自分の将来に希望がもてるよろこび
(2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられるみんなの学校」
・開かれた学校(教育活動の積極的な発信)
・安心できる学校(チームで迅速, 誠実な対応)
・私たちの学校(協働, 連携)
(学校HP, 学級だより, 来校機会確保)
(共通理解を図るためにコミュニケーションを密に)
(地域学校協働本部 学校を核とした地域づくり)
(3) 教職員にとって 「自己実現できる職場」
・風通しのよい明るい職場
・やりたいことができる職場
・成長できる職場
(何でも相談, コミュニケーションを密に)
(ボトムアップ, 当事者意識をもつ, 仕事にやりがい)
(学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任)

ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)
○児童は素直で明るく, 真面目であるが, 全体的に自己肯定感が低い児童が多い。児童が自分のよさに気づき, 自分のよさを生かすことができるよう環境を整え, 児童が自ら考え, 主体的に活動する学校にしていくことが課題である。
○個別の支援を必要とする児童が一定数いる。また, 不登校及び不登校傾向のある児童が多い。校内委員会, 不登校対策委員会の定期的な開催やSC, 関係機関と連携した組織的な対応を進めることが課題である。
○学習指導要領や新たな教育課題への対応がまだ十分とは言えない。校内研究やOJTを通して, 教員の指導力を向上させることが課題である。

中期的な経営目標

- 1. 教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
2. 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
3. 自己指導能力の育成と挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着
4. 保護者や地域学校協働本部を活用した教育活動の充実
5. 一人一台モバイル端末の効果的な活用, プログラミング教育の推進
人・組 ・授業力の向上 ・校務分掌の活性化 ・服務規律の徹底 ・ライフ・ワークバランスの推進

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

Table with 3 columns: 1. 豊かな心(徳), 2. 確かな学力(知), 3. 健やかな体(体). Each column contains specific goals and numerical targets for the school year.

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

Table with 2 columns: 4. 保護者・地域との連携, 5. ICT機器を活用した授業改善. Each column contains specific goals and numerical targets.

人材育成・組織運営

- 授業力の向上
・計画的にOJT(北翔塾)枠を確保することで, 切磋琢磨し合う環境をつくる。
○校務分掌等の活性化
・校務分掌組織を見直し, 組織の運営を合理化する。
○服務規律の徹底
・定期的な研修とサービスニュースレターを活用した校長講話により, 教育公務員としての自覚と人権意識を高める。
○ワーク・ライフバランスの推進
・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化する。

